

朝日新聞 防犯ニュース

安全・安心まちづくり



平成30年(2018年) 冬号 VOL.145

都内での振り込め詐欺の被害は、世田谷区がダントツトップ。成城署管内でも2017年には、2億2000万円(12/18現在)の被害が発生しています。警察は日々、粘り強く対応していますが、そこには邪魔をする壁があるそうです。それは「私はだまされないから大丈夫」と、思い込んでいる心の壁です。「私は、だまされない」と思っている人には、危機感がありません。そのため、警察からの注意も上の空で、何の対策も行いません。こういう人たちこそ犯人にとっては格好のターゲットで、とても危険な状態にあるというのを、わかってもらいたいということです。その証拠に、被害に遭われたほとんどの人が、「私に限っては大丈夫」と、思っていました。東京都で一番狙われている世田谷区にお住まいのみなさん、「私は大丈夫!」といった思い込みは危険です。危機感を持ち、具体的な対策を積極的に行いましょう。



振り込め詐欺 被害に遭わないために 今すぐ実行!

犯人はだましのプロ。接触しない工夫を!

すべての被害が、1本の電話から始まります。そこで、自宅の電話を常に留守番電話に設定し、呼び鈴がなっても、すぐに電話に出ないようにしましょう。

<常に留守番電話にしている人の声>

犯人と接触しないので、安心です。しつこいセールスの電話もなくなりました。

相手が電話を切った後に、メッセージを確認して、必要があれば折り返し電話をしています。だまされることを思えば、面倒ではありません。



本当の息子や孫が困っていたら、留守番電話にもメッセージを残すはずです。これまでのところ、振り込め詐欺の犯人が、留守番電話にメッセージを残したといった事例はありません。



電話機を購入する予定がある場合には、「自動通話録音機」付きのものにしましょう。手ごろな値段で購入でき、場所も取らず高機能です。

架空請求 ある日突然、身に覚えのない請求をされた

アダルト・出会い系などの有料サイトの利用料金や借りていない借金の返済を求められます。ハガキや封書で「最終通告書」「債権譲渡通知書」などの通知が届く場合や、Eメールや電話で請求してくる場合もあります。



絶対にダメ!

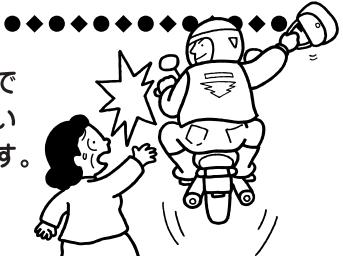
突然の請求に慌てて、わからないままに、「家や職場に取り立てに来られたら困る」「トラブルには巻き込まれたくない」と、先方に連絡をしてしまう人が多くいます。

連絡しない! 支払わない!

請求通りに支払ってしまうと、脅せば払う人と見なされ、さらに請求されることもあります。どうしても不安な場合には、先方に連絡する前に警察に相談してください。

年末、年始はひったくりが多発

犯人は、背後からバイクや自転車で近づき、荷物やバッグを奪い去ります。毎年、この時期に多発します。厳重に注意してください。



●バッグや荷物は、車道の反対側、建物側にもつ



●なるべく明るくて人通りの多い道を選ぶ



●歩きながら携帯電話の操作はしない。



●カバンはたすきかけにするなど、奪われにくい持ち方にする。



守ろうよ わたしの好きな 街だから

成城警察署 03(3482)0110

発行部数 44,000部 成城警察署管内 (発行ASA)

成城警察署管内のASA

ASA桜上水、ASA経堂、ASA赤堤、ASA祖師谷北部、ASA成城、ASA烏山中央、ASA北烏山、ASA千歳船橋北部、ASA祖師谷、ASA成城南、ASA用賀、ASA大蔵、ASA二子玉川、ASA千歳船橋、ASA烏山